

## 一地名の由来

吉岡公民館長 橋本俊英

吉岡地区は、荒川の南岸です。現在、四つの大字から構成されております。荒川大橋を南下して、すぐの地域が村岡です。他に万吉、平塚新田、楊井です。

市合併前は、吉岡地区は吉岡村でした。更に、以前は大字村岡は村岡村でした。他の三字も全部村でした。

その中の村岡について、紙面の限りのため、伝えられている一つの史実を述べます。村岡の名前の由来です。

昭和三年発行「埼玉県名勝史跡写真帖」（熊谷町伊藤儀八郎著）には、「村岡権五郎墓（大里郡吉岡村村岡熊谷駅より六丁）村岡五郎良文五代孫権五郎忠通の墓なり、村岡氏は相州鎌倉郡村岡郷に生まれ剛勇無双の士なり、而して姓を村岡と称せしが此の村岡村も忠通の住せしを以てこの名ありという。永享十二年村岡河原合戦のこと古戦記にも見ゆ」とある。

ここ村岡は、たしかに平良文との関係が伝えられている。

「平良文は、武蔵大椽に任ぜられて大里郡村岡に土着した。これで良文は村岡五郎と称せられた」（武蔵野歴史散歩）とあることから、これが村岡の地名になった理由と考えられる。

しかし、郷土史家の間では平良文なるものについても、いろいろと異論もある。



「村岡の渡し」で使われた船

（熊谷市公協だより 第40号 平成16年より）